



『くりの木ひろば』活動終了

『くりの木ひろば』は子どもたちの遊び場・地域の憩いの場。いつ誰が来てもいい、みんなのやりたいことができる場所。RQ市民災害救援センターの1カ月限定のプロジェクトとして、2011年11月に始まった、宮城県気仙沼市『くりの木ひろば』。その後は団体から独立して有志サポーターで活動を続けてきましたが、このほど一連の活動を終了することになりました。



MONTHLY

「東北に黒龍を送ろう! 大作戦しんぶん」改め
復興支援『すけきた』
かめふばと

「すけきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である



『くりの木ひろば』は、この11月で3年の節目を迎えました。
何もなかった広場に地域の方が子どもたちのためにと手作りプランコやシーソー、ターザンロープなどの遊具を作ってくださって、今では子どもたちが自分たちで滑り台を作ったり、木登り、鬼ごっこ、虫探し、草花遊びなど、思い思いの時間を過ごします。
広場を始めた当初は子どもたちだけの利用が多かったのですが、現在では散歩途中のおばあちゃんたちが立ち寄っておしゃべりを楽しんだり、父母も一緒に子どもとの時間を過ごす場所になっていきました。
ここまで続けてくることができたのは、気仙沼市小泉地区の皆さんと広場の土地を開放してくださった地主さんをはじめ、全国のサポーターの皆さんのご協力のおかげです。
そして、なにより遊びに来てくれた子どもたちの笑顔から、たくさんの元気をもらいました。サポーターがいる日もない日も子どもたちは好きな時に来て、好きなことをして、好きな時に帰っていく、そんな日常の居場所として利用してくれていました。
できることなら小泉の町に公園ができるまで『くりの木ひろば』での遊び場作りの活動を続けたいと思っていましたが、県外からのサポーターが広場の管理、運営をしていくことが難しくなってきたため、土地をお返しして活動を終えることを決めました。

宮城県
登米 歌津
気仙沼と歌津の間あたり『気仙沼市本吉町平貝』の小泉中学校そばで活動していました



西表ではちょっと真似のしにくいあそびです...

一枚一枚ボランティアが色を塗って仕上げていました



くりのきあきまつり
11/2 (日)
12:00~ 午後
16:45~ うちあげ花火
17:00 閉会

▲遊びの道具と達人をのせてやってくる『プレーカー』



▲こちらはお別れランチ

時折子どもたちがポツポツと語る『震災の記憶』を聞いて、改めてこの出来事の大きさや今後のことを考えさせられながらの活動でした。

<RQ仲間よりメッセージ>

小泉の「くりの木ひろば」のボランティアによる運営が11/2(日)で終了すると聞きました。ひろばに遊びに行ったり冊子作りを手伝ったりする中で、おたがい都内から通いでボラ活動の悩みを分かち合ってきました。いろいろを思い出して感無量です。おつかれさまでした。

(聞き書きチームより)

いつかは終わる活動だとわかっていても、必要だと思えば立ち上がり、やがてその時がきて解散していく。くりの木ひろば終了のお知らせを受けて、引き際の潔さに少しの寂しさを感じながらも、必要な時がきたらまた立ち上がることを躊躇してはいけなないと思えました。ありがとうございました!

また皆で会える日を楽しみにしています!
(ROMELMAGより抜粋)

この三年間の活動を通して、「子どもたちへの想い」から地域の大人たちが集まり、動き出す姿をたくさん見てきました。そんな大人たちの姿を見て、子どもたちは自分たちの地域の魅力を感じながらたくましく、頼もしく成長していることを実感しました。
お世話になった皆さん、遊びに来てくれた子ども達、どうもありがとう!
場所としての「くりの木ひろば」は終わりますが、私たちは小泉が大好きになったので、これからも遊びに来ます。

11月2日、雨予報のなか奇跡的に晴天に恵まれて、最後の「くりの木秋まつり」を開催しました!
たくさん子どもたち・大人たちが集まり、芋煮、気仙沼ホルモン焼きそば、プレーカー、わなげ、焚き火de焼いも&焼きマシマロ、最後に打ち上げ花火と、めいっばい楽しみました♪